

同時開催

楊凌国際農業科学技術フォーラム2010

開催のご案内 Fair Guide

2010年11月1日(月)
～11月3日(木)



博覧会公式日本事務局
 **アジア現代経済研究所**
Contemporary Asian Economy
Research Institute

会場：中国・楊凌 中国西北農林科技大学
主催者：中国教育部；中国外国專家局；中国陝西省人民政府

楊凌国際農業科学技術フォーラム

開催趣旨

2000年より毎回この博覧会時期に合わせ、「楊凌農業ハイテク科学技術フォーラム」を開催しています。2005年「一村一品」国際フォーラム、2006年「中国—カナダ大農業科学技術イノベーションコラボ週間」、2007年「中国—オーストラリア農業コラボ週間」、2008年「中国—イスラエル農業コラボ週間」、2009年「2009楊凌国際コラボ週間」「2009アジア太平洋農産物加工国際フォーラム」と実施して参りました。



楊凌国際農業科学技術フォーラム2010

楊凌国際農業科学技術フォーラム2010

中国陝西省楊凌市

2010年11月1-3日

開催趣旨

地球温暖化がますます深刻になりつつある現在、世界諸国の農業発展に着目してみると、人口増加や食の安全、各農業資源特に水資源の枯渇、自然環境の悪化といったさまざまな問題に直面していることがわかります。そのような中で、世界の2/3の人口が世界土地面積の38%を占める干ばつ、半干ばつ地域で暮らしています。したがって、干ばつ地域での農業の持続的発展が非常に重要であると考えられています。その中で今回、干ばつ、半干ばつ地域での農業及び農村の発展を推進ため、また、世界諸国の農業分野の専門家や研究者が最新の研究成果を発表し交流するため、2010年11月1～3日、中国西北農林科技大学において「楊凌国際農業科学技術フォーラム2010」が開催されます。フォーラムでは、干ばつ、半干ばつ地域の農業及び農村の発展問題に焦点を絞り、地球温暖化の背景の下で、各農業資源の合理的かつ効率的な利用・配置・管理、乾燥・半乾燥地域での農業の持続的発展の促進などをテーマに議論します。

■ 展示会期：2010年11月1日(月)～3日(木)

■ テーマ：干ばつ地域農業、気候変化、資源利用、持続発展

■ 会場：中国西北農林科技大学

■ 主催者：中国西北農林科技大学;陝西省外国専門家局;中国楊凌農業ハイテク産業モデル区

■ 強力者：国連教育科学文化組織

■ 分科会：1.気候変化と干ばつ地域における農業

2.干ばつ地域における資源の持続的利用

3.干ばつ地域における水資源の管理と農業における省エネ

4.干ばつ地域における牧畜業と疫病の防止

5.干ばつ地域における自然再建と環境保護

6.干ばつ地域における農業の持続的発展

(*フォーラムの言語は英語です)

■ スケジュール：2010年10月31日(日)～11月4日(木)

10月31日(日) エントリー(一日ツアー手配可)

11月1日(月) 午前：17回中国楊凌農業ハイテク成果博覧会開幕式

午後：楊凌国際農業科学技術フォーラム2010開幕式

11月2日(火) 午前：基調報告 / 午後：分科会及びディスカッション

11月3日(水) 午前：分科会及びディスカッション報告

午後：楊凌国際農業科学技術フォーラム2010閉幕式

11月4日(木) 閉会(一日ツアー手配可)

楊凌国際農業科学技術フォーラム関係資料 ①

過去楊凌国際農業科学技術フォーラム紹介

楊凌国際農業科学技術フォーラム2009

■ テーマ：「環境保護と再生エネルギー」

アメリカ、イギリス、オランダ、オーストリア、イスラエル、オーストラリア、日本、カナダ、トルコ、ウズベクスタン、キルギス、インド、モンゴル等16カ国72名の大学教授、専門家が参加し、また中国国内では20か所以上の農業関係大学や研究機構など60名余りの大学教授、専門家参加しました。

■ 政府関係者：

陝西省 景俊海副省長、国家外国専門家 陸明局長、西北農林科学技術大学学長孫武学、イスラエル 駐中国大使館科学技術・農業Ezra Shoshani参事官、イギリス研究理事会中国代表处 Chris Godwin主任。

■ 主な海外参加者：

Van Hall Larenstein University Martin J. Kropff学長
オーストリア垂欧・太平洋大学連合会ビクリンナ主席
カナダ農業・農業食品部Johanne Boisvert副部長
ヨーロッパ生態社会フォーラムFranz Fischler主席(前EU連合農業専務)
University of Maryland Kendra Wells教授
Utah State University Roger Kjelogren教授
University of Michigan David Skole教授
スコットランド農業大学Bob Rees教授等

楊凌国際農業科学技術フォーラム2008

■ テーマ：「循環経済と農業の持続的発展」

16ヶ国の52名の大学、研究機関や政府機関の専門家、学者が参加

■ 主な海外参加者：

イギリス環境・食品及び農業事業部Jeremy Eppel部長
イギリスロンドン学院大学David Norse教授
イスラエル農業研究センターSara Spiegel教授
カナダ農業・農業食品部Martel上席研究員
オーストラリア アデレード大学
University of Southampton Charles Banks Pro.
Imperial College London Jeremy Woods Pro.等

楊凌国際農業科学技術フォーラム関係資料 ②

西北農林科学技術大学紹介

■ 中国現代高等農業教育における最高水準の大学のひとつ

西北農林科学技術大学は教育省直属の国家大学サイエンスパークの中で唯一農林業関連に属す中国主要大学のひとつであり、中国西北地区現代高等農業教育における最高水準の大学です。

“西北建設”、“西北開発”の時代要求に応じ、于右任先生と楊虎城將軍は中国農業文明の発祥の地である楊陵を選択して1934年に西北農林科学技術大学を設立しました。1999年9月國務院の批准を受けて院西北農業大学’西北林学院’中国科学院水土研究所’西北修理科学研究所’陕西省農業科学院’陕西省林業科学院’西北植物研究所など科学教育機関が合併されて西北農林科学技術大学と命名されました。

現在学校に皆4,654人の教職員が在籍しています。（専任教師が1,334人、教授229人、副教授352人、博士研究生指導教師188人、修士研究生指導教師543人）また学生は20,141人であり、本科生が16,921人、研究生が3,220人（修士研究生2,385人、博士研究生835人）です。

学校内には15の研究学院施設が設立され、現在59の学部学科、78の修士学位委任場所、58の博士学位授権点、および8つの博士後研究センターがあり、その他に農業普及、工商管理など6類の修士学位養成権があります。

そして、干旱地区農業、土壌学、農業水土工事、植物病理学、臨床医学、水土保障と荒漠化防止、農作物遺伝育種、動物遺伝育種と繁殖、農業経済管理などの学科は関連する各研究領域にて良い成果をおさめました。

現在本校はアメリカ、イギリス、フランス、オランダ、日本、オーストラリアなど国家の38大学、科学研究機構と長期の合作、交流関係を結んでいます。

イベント内容

イベント名	支援サービス内容	備考
「日本現代農業展」 日時：11月1日(月)～5日(金) 会場：楊凌農業科学技術展示センター 国際館 日本現代農業ゾーン、農業・機械展示館	自由出展 パネル出展 カタログ出展 出展部品通関申告	日本窓口経由必須
楊凌農業ハイテク成果博覧会及びモデル区 見学・視察ツアー 実施期間：11月1日(月)～5日(金)	政府・農業管理機構 表敬訪問・懇親会 一般企業視察・見学	日本窓口指定手配
楊凌国際農業科学技術フォーラム2010 日時：11月1日(月)～3日(水) 会場：中国西北農林科技大学 国際会議センター	講演・一般参加	日本窓口問合せ可
「第9回国内外農民創業フォーラム」 日時：11月1日(月)～2日(火) 会場：楊凌農業科学技術展示センター 大ホール	講演・一般参加	日本窓口問合せ可
オプションサービス	現地レポート作成 通訳 ビジネス通訳 中国語資料作成	日本窓口問合せ可

ブース出展価格

ブースの規格	価格	備考
スタンダードブース (インドア・エリア)30ブース 国際館 日本現代農業展示ゾーン (標準小間 3m×3m)	200,000円/1ブース	標準ブースの規格は3m×3mで、 ブースの仕切り(三つ)、参加企業 の中、英文の看板(一つ)、ブース 範囲内のカーペット、220V/5A の電源ソケット(一つ)、ブース内 の照明器具(ライト二つ)、机(一 つ)、椅子(二つ)、展示期間内の ブース清潔サービスなどを提供さ せていただきます。
屋外ブース (アウトドア・エリア) 全500㎡ 農業・機械展示館	6,500円/1㎡	

問合せ

特定非営利活動法人 アジア現代経済研究所 事務局

住所：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-18 小滝橋ビル9F

TEL：03-6279-3682 FAX：03-5348-2969

E-mail：info@caeri.org

URL：www.caeri.org